

A1105	EF53-16 後期型 ぶどう色1号 東京機関区	予価:10,780円(本体価格9,800円)
		JANコード:801277 カートン内入数:24

A1402	EF56-10 後期型 ぶどう色1号 浜松機関区	予価:10,780円(本体価格9,800円)
		JANコード:099308 カートン内入数:24

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 単品プラケース入)
-------------	---

実車	<p>EF53は鉄道省が1932年から製造した旅客用直流電気機関車です。日本初の大型国産電気機関車となったEF52を改良して誕生し、1934年までに19両が製造され丹那トンネル開通後の東海道線で活躍しました。列車暖房用の蒸気発生装置を持たなかったことから戦後はEF58などに活躍の場を譲り、東北本線・高崎線などで活躍しましたが、最終的には全機が山陽本線瀬野～八本松間の補機であるEF59に改造されて活躍しました。</p> <p>EF56は1937年に登場した旅客用直流電気機関車です。当時の標準型EF53をベースとして列車暖房用の蒸気発生装置を搭載し、冬季の暖房車の連結が不要となりました。1940年に製造されたグループは車体が角ばっており当初製造されたグループとは形態が変化しました。戦後はEF58などの増備に伴って活躍の場を東北本線などへ移し1975年までに引退したほか、山陽本線瀬野～八本松間の補機であるEF59に5両が改造されました。</p>
-----------	---

商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース電気機関車シリーズの更なる充実 ・ヘッドライト点灯
-------------	--

ぶどう色1号のEF53



- 2010年2月発売のA1102を基にしたバリエーションモデル
- 元お召指定機16号機の指定解除後、ぶどう色1号となった姿
- 形式入りナンバープレートをタンポ印刷で再現

ぶどう色1号のEF56



- 2010年2月発売のA1404を基にしたバリエーションモデル
- 角型車体を持つ後期型。東海道線で活躍していたぶどう色1号時代
- 大型のガーランドベンチレータに類似したSG煙突を装備した姿

オプション	なし
付属品	なし